

令和7年度
日本商工会議所青年部

日本商工会議所青年部
第45回全国大会つる舞う形のGUNMA
いせさき大会

会長
小野知一郎

大会会長
中川 誠

永続と変革を 始まるの地、 群馬 で



1. 45回目を迎える全国大会。この節目に、お二人が一番強く感じている“念い”とは何でしょうか？

小野会長 45回目のGUNMAいせさき大会は節目の大会です。1981年に群馬県前橋市にて第1回全国大会が始まりました。通常は組織を作ってスケールメリットを活かす戦略のもと大会を構築していきますが、その始まりは「地域を良くしよう」、「この国の強さ総和にしていこう」という地域を先導されたリーダーたちの念いです。その念いは、YEGの本質に合致していると感じますし、日本や世界全体で見たときにも通常の組織論とは逆の強き念いを感じるものがあり、すごく珍しいなと思っています。

今年は皇紀2685年、そして大東亜戦争後 80年目の大きな節目の年です。日本商工会議所の前身となった東京商法会議所が始まったのが1878年。このころの伊藤博文氏や渋沢栄一

氏、大隈重信氏など、若き青年経済人の平均年齢は38歳でした。渋沢栄一氏が商工会議所を立ち上げたのも38歳です。戦後80年の節目で先人や歴史を深掘れば深掘るほど、この国やこの地域、万世一系で続いてきた最古の王朝である日本、それを守ってきた日本人の勤勉性や伝統精神が、この組織の運営戦略につながっていると感じます。

このGUNMAいせさき大会では、永続に必要な時代に応じた変化変容という手法論も重要ですが、その土台であるベースの人間らしさが最も重要です。しっかり過去に起こったことを私たちが思料することにより、先人の皆様へ、敬意を払い、今を生きる我々がどのように責任をもって、未来に発信できるかが、全国大会で一番に表現すべきことだと考えています。

「みな違ってみな良し。しかし、最後にはYEGらしさってなんだろう？」という今年度掲げさせてもらっている「YEG Common」。このYEGらしさを表現する理念体系という一本の筋を、全国大会でお集まりいただいた多くの方々にごきちんと発